

## 2011(平成23)年度 基本事業目的評価表

**基本事業名** 21203 働く場と家庭・地域における男女共同参画の推進

主担当：環境生活部男女共同参画・NPO課 課長 鳥井 早葉子

電話：059-224-2225

**基本事業の目的**

男女共同参画を進めている企業等の優良事例の紹介や、女性の就労のための情報提供・相談などに取り組み、働く場や家庭生活・地域活動における男女共同参画を推進します。

**各種データ**

県の活動指標	平成23年度	平成24年度	平成27年度	目標 達成状況
	下：実績値	上：目標値	上：目標値	
男女の能力発揮促進のため、積極的な取組を行っている企業等の割合	21.3%	23.6%	27.0%	—
1 農業委員会あたりの女性農業委員数	1.79人	2人以上	2人以上	—
				—

	2011	2012	2013	2014	2015
予算額等(千円)	26,960	17,080			

**平成23年度取組概要**

●男女がいきいきと働く職場環境整備に積極的に取り組んでいる企業の表彰制度に加え、平成22年度に認証制度を創設し、対象となる企業を非営利を含めた法人全般に拡大しました。平成23年度の企業等からの応募は、昨年度の13社(法人)を大きく上回り48社(法人)となりました

●表彰企業の事例発表等の機会を設け、職場におけるワーク・ライフ・バランス、男女共同参画やポジティブアクションの取組推進について、普及啓発を行いました。(6回開催、参加261名)

●拠点施設として、「みえチャレンジプラザ」の運営し、女性の就労支援相談を行いました。キャリアカウンセラーの資格を持つ相談員を配置し、のべ791件の相談を受け、キャリアカウンセリングや情報提供、専門機関の紹介など、個人の状況に応じた支援を行いました。また、就職面接時における一時託児を実施し、のべ28名の利用がありました。

●男女共同参画推進サポーターを 32 名養成し、サポーター研修や県外研修へ派遣することで、サポーターとして必要な男女共同参画に関する知識の習得と資質の向上を行いました。

#### 平成 23 年度の実績の検証（成果や課題、その要因）

●男女がいきいきと働く企業の認証登録企業は 42 法人でしたが、そのうち建設業からの応募は 18 法人となりました。これは、今年度から認証登録が総合評価方式における評価項目の要件となったことが要因と考えられます。

●「みえチャレンジプラザ」を四日市市に設置しているため、相談者が北勢地域居住の方に偏りがちなため、利用者の地域拡大が課題です。

●サポーターが各地域において 582 件の情報提供等の活動を行いました。

●県内 9 地域で男女共同推進サポーターと県、市町担当者の会議を開催し、イベント等での啓発活動やロールモデルのインタビュー、アンケート調査などを実施し、活動報告集（8 事例）を作成しました。

#### 平成 24 年度の改善ポイントと取組方向

●働く場における男女間の格差是正や女性の能力発揮、男女ともに仕事と生活の調和のとれた働き方の実現に向けて、企業における就労環境整備の取組のさらなる拡大を図るため、表彰企業の取組事例についての広報紙への掲載やセミナー等での事例発表などを行い、表彰・認証制度の周知や、受賞の効果を PRするとともに、より多様な機関と連携して、事業者向け研修会等を地域に偏りなく開催するなど、職場におけるワーク・ライフ・バランス、男女共同参画やポジティブアクションの取組推進について、普及啓発を図ります。

●「みえチャレンジプラザ」を発展的に解消し、四日市市、津市、伊勢市、伊賀市に巡回就労相談を実施することにより、利用者の地域拡大を図るとともに、あわせて電話相談も実施します。

●男女共同参画に関する各種スキルを持ち、地域活動のコーディネーター兼リーダーとして活躍できる人材の養成を図ります。

## 構成する事務事業

事務事業名	事業目的	予算額等 (千円)	取組内容とその結果	貢献度
A 働きやすい職場づくり事業(再掲) 雇用対策課	男性も女性もいきいきと働くことができる職場づくりの実現をめざし、職場における男女共同参画への意識改革を行い、男女の職場内のあらゆる格差を解消します。また、多様な働き方の選択肢が広がることで、勤労者の就労機会が広がるとともに社会参加や子育て・介護期等における仕事と家庭の両立が円滑に行えるようになります。	3,007	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知事表彰制度は、平成 14 年度に表彰基準を策定し、平成 16 年度からは受賞企業の公募制を導入しました。また、平成 22 年度から、多くの企業等による取組の推進を図るため、表彰制度に加え認証制度を創設し、募集対象を営利を目的とする企業のみから営利・非営利法人全般に拡大しました。また、知事表彰企業は、認証制度の基準を満たした企業等（認証企業）の中から、特に意欲的な取組を行う認証企業を候補とし、インタビュー調査、知事表彰選考委員会を経て選定することとしました。なお、本年度は、45 法人を認証登録するとともに 3 法人を知事表彰企業として決定しました。</li> <li>・表彰企業の取組事例についての広報紙への掲載、セミナー等での事例発表などにより、広く情報発信を行いました。</li> <li>・知事表彰については、平成 19 年度から公共工事、平成 20 年度から測量設計業務における総合評価方式の評価項目の要件に加えられ、さらに、平成 22 年度からは認証についても評価項目の要件となったこともあり、建設業からの応募が増えています。平成 23 年度の企業等からの応募は、昨年度の 13 社（法人）を大きく上回り 48 社（法人）となりました。（内建設業からの応募：18 年度 0 社→19 年度 5 社→20 年度 8 社→21 年度 9 社→（認証制度創設）22 年度 11 社→23 年度 42 社）</li> <li>・表彰企業の事例発表等の機会を設け、職場におけるワーク・ライフ・バランス、男女共同参画やポジティブアクションの取組推進について、普及啓発を行いました。（2 回開催）</li> </ul>	

B 女性の就労支援事業 男女共同参画・NPO課	意欲や能力のある女性が、就労等社会参画に踏み出すことにより、地域社会の活性化や一人ひとりが豊かさを感じられる社会づくりを進めます。	10,590	<p>●みえチャレンジプラザの運営 女性のチャレンジに対して、就労等の支援を行う拠点施設として、「みえチャレンジプラザ」を運営しました。</p> <p>●女性の就労支援相談 キャリアカウンセラーの資格を持つ相談員を配置し、のべ791件の相談を受け、キャリアカウンセリングや情報提供、専門機関の紹介など、個人の状況に応じた支援を行いました。また、チャレンジしたい女性のために、就職面接時における一時託児を実施し、のべ28名の利用がありました。</p> <p>●広報活動 「三重の労働」、メールマガジンなどの各種媒体を通して、みえチャレンジプラザの業務内容について周知をはかりました。</p> <p>●出前相談、セミナーの開催 伊賀市他4市、健康福祉部の事業と協働で、出前相談及び適職診断等のブースを出展したほか、四日市市との協働で、のべ2日間セミナーを開催しました。</p>	
C 働く場における男女共同参画ふるさと雇用再生事業 男女共同参画・NPO課	企業等における男女共同参画の取組を促進するため、ワーク・ライフ・バランスなどの相談や研修、男女共同参画の視点を生かした経営等のコンサルティングを行う。	14,910	<p>○企業等男女共同参画コンサルティング事業 企業等における男女共同参画の取組を促進するとともに、働く女性をとりまく課題に対応するため次の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点を生かした経営等のコンサルティング</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスなどの相談・研修、働く女性のネットワークづくり</li> </ul>	
D 男女共同参画推進サポーター事業 男女共同参画・NPO課	地域づくり活動や防災活動などの地域活動に女性の力が十分に活かされ、地域における男女共同参画が実現している状態にします。	1,460	<p>●男女共同参画推進サポーターの設置・養成 男女共同参画推進サポーターを32名養成し、サポーター研修や県外研修へ派遣することで、サポーターとして必要な男女共同参画に関する知識の習得と資質の向上を行いました。</p> <p>●各地域での活動 サポーターが各地域において582件の情報提供等の活動を行いました。</p> <p>また、県内9地域でサポーターと県、市町担当者の会議を開催し、イベント等での啓発活動やロールモデルのインタビュー、アンケート調査などを実施し、活動報告集(8事例)を作成しました。</p> <p>さらに、伊賀地域では名張市長に対し、男女共同参画に関するインタビューを実施し、活動報告に掲載しました。</p>	

